



# HYOGO INTERNSHIP REPORT 2023

令和5年度 インターンシップ報告書



兵庫県経営者協会  
インターンシップ事務局

令和5年度 インターンシップ報告書 (2023年度)

《発行》兵庫県経営者協会 インターンシップ事務局  
<https://hyogo-internship.jp>



# HYOGO INTERNSHIP REPORT 2023

令和5年度(2023年度)のインターンシップ事業推進にあたり、積極的に実習の場を提供いただきました企業・団体の皆様には改めて厚く御礼申し上げますとともに、学生が安心して参加できるよう調整、フォローいただきました学校関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

また、本事業推進に際し、ご理解ご支援いただきました関連諸団体の関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度(2023年度)は文部科学省、厚生労働省、経済産業省合意により改正された「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援活動(4類型)」に基づき、本事業を推進いたしました。初年度ということもあり、学校、学生、企業・団体とも手探りの中での事業開始となりましたが、新型コロナウイルス感染症の5類への移行もあって、2022年度の実績を上回る実施結果となりました。

以下、令和5年度(2023年度)の本事業実施状況、企業・団体、学校及び学生の皆様からいただきました多くのご意見、ご要望を纏めてご報告いたしますので、関係の皆様の本事業の今後の更なる活性化に繋げていただければ幸いです。当協会インターンシップ推進事業事務局は、本報告書の内容を踏まえ、本事業の更なる実効性の向上に注力し、関係者のニーズに沿った情報発信他に取組み参りますので、更なる連携強化、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 令和5年度インターンシップ報告書(2023年度)

### Contents

インターンシップ事業概要	P.02
インターンシップ実施状況	P.03
インターンシップ協力企業・学校一覧	P.09
企業・学校・学生アンケート結果	P.11
参考資料：キャリア形成支援活動4類型について	P.14

## インターンシップ事業概要

### 沿革

平成11～13年度 (1999～2001年度)	労働省(現厚生労働省)委託事業「インターンシップ導入促進等支援事業」
平成14～17年度 (2002～2005年度)	厚生労働省から日本経団連(東京経協)への委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」を再受託
平成18～19年度 (2006～2007年度)	兵庫労働局委託事業「インターンシップ受入企業開拓事業」 →姫路経協・尼崎経協に各地区の事業を再委託
平成20～21年度 (2008～2009年度)	(情報提供のみ)
平成22年度(2010年度)	兵庫経協独自事業
平成22年度(12月)～24年度 (2010.12～2012年度)	兵庫県委託事業「中小企業人材確保インターンシップ事業」
平成25年度(2013年度)	兵庫県委託事業「中小企業魅力発見インターンシップ事業」
平成26年度～令和5年度 (2014～2023年度)	兵庫県委託事業「大学生インターンシップ推進事業」 →平成28年度～姫路経協・尼崎経協への再委託により全県下へ推進 →平成29年度～マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」運用

### 令和5年度(2023年度)実施概要

※令和6年度(2024年度)実施概要に関しましては「2024年度企業・学校向けマニュアル」をご確認ください。

- ①実施主体** 兵庫県経営者協会、姫路経営者協会、尼崎経営者協会  
**連携** 兵庫県、神戸市、兵庫労働局、神戸商工会議所、兵庫工業会、大学コンソーシアムひょうご神戸
- ②対象企業** 兵庫県内の企業、行政機関、公共機関など。
- ③対象学生** 「兵庫県インターンシップシステム」登録校に在籍している全国の大学・大学院、短期大学、高等専門学校(4年生・専攻科生)、専門学校生が対象です。
- ④実施時期・内容**

<b>時期</b>	通年(推奨期間)【夏期】7～9月 【春期】1～3月
<b>内容</b>	学生のキャリア支援形成にかかわる4類型に準ずる。
- ⑤その他**

<b>補助等</b>	原則として無報酬ですが、企業によって交通費や昼食などを支給いただく場合があります。各社の受入条件の詳細は「兵庫県インターンシップシステム」募集情報ページに掲載されています。
<b>保険</b>	参加学生はインターンシップ保険(災害傷害保険・賠償責任保険など)に加入必須です。各学校を通じて学生への加入指導を行っています。

# インターンシップ 実施状況

## 令和5年度（2023年度）スケジュール

インターンシップ実施に関する各種手続きは、マッチングサイト「兵庫県インターンシップシステム」上で管理しています。システムでは通年（4月上旬～翌年3月末）でインターンシップ募集・参加を受け付けていますが、ここでは開催数が最も多い「夏期」を中心に報告します。

**「兵庫県インターンシップシステム」[URL] <https://hyogo-internship.jp>**

※令和6年度（2024年度）のスケジュールに関しましては、随時「兵庫県インターンシップシステム」を通じてご案内します。

	事務局	企業	学校	学生
4月	4/10 システム稼働 学生周知 学内ガイダンス参加	①登録情報更新 or 新規登録	①登録情報更新 or 新規登録	①利用登録
5月	〈企業〉【夏期】 募集情報の確認	②募集公開	②学生周知	②エントリー
6月	〈学校・学生〉【夏期】 募集情報の案内 〈学生〉6/10 [2023 ひょうご企業と 学生の交流会]開催	③学生選考		③受入可否確認
7月	〈学生〉7/2 [ビジネスマナーセミナー] 開催	④連絡調整 ⑤覚書締結 (必要な場合のみ)	学生サポート ③覚書締結 (必要な場合のみ)	④連絡調整・参加日程登録 ビジネスマナーセミナー (希望者のみ)
8月		募集推奨期間 【夏期】7～9月		
9月	〈学生夏期休暇〉インターンシップ実施 ひょうご企業見聞録事業			
10月	〈企業〉11/16 [企業向けインターンシップ勉強会 ～今日から即実践できる・自社の 採用戦略を考える～]開催	随時①～⑤	随時①～③	随時①～④
11月	〈企業〉12/14 [企業向けインターンシップ勉強会 ～今日から即実践できる・自社の 採用戦略を考える～]開催 (応募多数につき追加開催)	インターンシップアンケート実施		
12月		随時①～⑤	随時①～③	随時①～④
1月		募集推奨期間 【春期】1～3月		
2月	〈学生春期休暇〉インターンシップ実施			
	2/21 [令和6年度(2024年度)インターンシップ説明会]開催			
3月	報告書発行			
4月	システム更新			

## 開催イベント

### 学生向け 企業向け ひょうごインターンシップフェア〈学生と企業の交流会〉

学生が対面形式で、地元企業の方から、企業の魅力や仕事のやりがいなどを直接「聞く」ことができる交流イベントを開催しました。

日時	6月10日(土) 13:00～16:30	会場	神戸クリスタルホール
プログラム	① 参加企業スピーチ (前編 後編 2回) ② 交流タイム (各回 20分×5回)		
参加企業数 20社	Earthink(株) / (株)アイユース / アスカカンパニー(株) / 池田建設(株) / カルモ鋳工(株) / (株)観光ホテル淡州 / 感動会社楽通(株) / (社福)きらくえん / キンキテレコム(株) / 神戸中央青果(株) / (株)神戸マツダ / ゴダイ(株) / (株)ダイネンヒューマン plus / 但陽信用金庫 / 日東コンピューターサービス(株) / (株)阪技 / 播州信用金庫 / 山村ロジスティクス(株) / 加古川市役所 / 兵庫県警察		
参加学生 所属校 24校	大手前大学 / 関西国際大学 / 関西大学 / 関西学院大学 / 京都芸術デザイン専門学校 / 近畿大学 / 高知大学 / 甲南大学 / 神戸学院大学 / 神戸国際大学 / 神戸市外国語大学 / 神戸親和大学 / 神戸電子専門学校 / 滋賀大学 / 摂南大学 / 園田学園女子大学 / 帝塚山大学 / 徳島大学 / 姫路情報システム専門学校 / 姫路獨協大学 / 兵庫県立森林大学校 / 兵庫県立大学 / 武庫川女子大学 / 大和大学		
参加学生数	〈事前申込〉118名 〈当日参加〉延べ166名 企業訪問		

### 参加学生の声

初めてこういう会に参加して、もっとお堅い場なのかと思っていたのですが、フランクな会で安心しました。楽しく聞きたいことを聞くことができたので、とても勉強になりました。

知らなかった企業の説明も聞いて良かった。金融や自治体のジャンルに興味があったが他の業界にも興味湧いたので今後調べていきたい。

企業についての説明に加え、就活の上での不安などをざっくばらんに話すことができ良かった。

直接企業の方と話したのが初めてで緊張していましたが、質問してより詳しく仕事内容のお話を聞けて良かったです。事前に各企業について深掘して、具体的に質問を考えておく必要があったな、と課題に思いました。

企業ごとに詳しくお話をうかがうことができ、兵庫で働くことへのイメージが深まりました。



**学生向け 事前研修「ビジネスマナーセミナー」**

ビジネスマナーの基礎習得と、楽しみながら行える自己分析を通じて、インターンシップや今後の就活に向けての心構えを身につけるための研修を開催しました。今回は対面と、その様子を録画した YouTube によるオンデマンド配信を準備しました。

日時	7月2日(日) 13:30～16:10	講師	(株)SORA 代表取締役 角本 紗織理氏
参加学生数	〈会場〉スペースアルファ三宮 〈参加者〉12名	〈オンデマンド YouTube〉	～9月30日(土) 再生回数：108回
プログラム	ビジネスマナーの基礎習得・実践練習／自己理解のワーク／グループワーク など		
会場参加 学生所属校	追手門学院大学、関西学院大学、近畿大学、神戸学院大学、神戸電子専門学校、兵庫県立大学		

**\\ 参加学生の声 //**

第1印象や身だしなみが自分の想定以上に重要視されていることに気づき、はっとさせられた。特におしゃれと身だしなみの違いについて知ることができて興味深かった。

アルバイトで身につけたマナーで知っているものはありませんでしたが、アルバイトに知っているだけで、出来ているとは思っていませんでした。今回のセミナーを受けて、そんなマナーがあったんだとか、具体的にどう行動すれば良いのか知らなかったマナーについて知ることができ、これからのためになりました。

マナーについてある程度は知っていたけど、服装や電話のかけ方などを詳しく学んだことがなかったので、しっかり理解できるとも良い機会でした。自分の弱さや嫌なところを理解し自分自身をマネジメントできるようにするということが参考になりました。

今回はオンデマンドで参加したので、椅子の座り方やお辞儀の確認が出来なかったことが残念でした。次回は現地参加したいと思いました。

電話やメールのやり取りでのマナーは大学に入ってから意識するようになったため、もっと気をつけて、日頃から良い習慣を身につけることができるようにしていきたいと思った。



**学生向け ひょうご企業見聞録事業**

学生のキャリア形成を支援しつつ、県内企業を知る機会を提供する「ひょうご企業見聞録事業」を兵庫県と連携して実施いたしました。

事業目的	<p>学生が企業を選ぶ際に「知っている企業」を優先する傾向があり、優良であるにも関わらず知名度の低い企業が選択されない現状があります。学生にとっても知名度を優先することは望ましいことではなく、適切な職業選択を行うためには自身の適性や能力を知る「自己理解」と様々な仕事や企業を知る「職業理解」が必要です。</p> <p>そこで、県内企業を知る機会を提供することで企業の認知度向上を図るとともに、学生のキャリア形成支援を図る「ひょうご企業見聞録事業」を兵庫県と連携して実施いたしました。</p>
協力校	<p>甲南大学 全学共通教育センター 教授 武田佳久氏 夏季集中講義【プラクティカル・キャリアデザイン】にて実施</p>
プログラム	<p>■ 8月22日(火) 基調講演(兵庫県産業労働部 労政福祉課 就労対策官 常陰朗雄氏) 全体説明、参加学生のグルーピング、チームビルディング 訪問先企業の紹介、訪問についての注意事項、質疑応答</p> <p>■ 8月23日(水)・8月24日(木) 就業体験(各グループに分かれて協力企業先での就業体験) 企業担当者へのインタビュー、企業からの研修課題の付与</p> <p>〈受入企業〉6社 〈参加学生〉39名</p> <p>(株)奥谷金網製作所 / 3名 (株)日本ビジネスデータプロセッシングセンター / 8名 (株)香山組 / 5名 白鶴酒造(株) / 7名 神戸中央青果(株) / 8名 (株)阪技 / 8名</p> <p>■ 8月25日(金) グループによるプロジェクト学習</p> <p>■ 10月7日(土) 全体発表会(グループによるプレゼンテーション)</p>



**企業向け勉強会** ～今日から即実践できる～ 自社の採用戦略を考える

アフターコロナの影響もあってか、多くの企業から「学生のインターンシップの参加者が集まらない」といった声が届き、我々コーディネーターも学生の行動様式に変化が生じた印象を持っていました。そのため、企業側の立場から改めて最近の学生の動きを踏まえつつ効果的なインターンシップの実現を目的にセミナーを以下の通り企画・実施いたしました。

<b>日時</b>	11月16日(木) 13:30～16:30 12月14日(木) 13:30～16:30 ※申込多数のため、2回に分けて開催	<b>講師</b>	兵庫県経営者協会 会議室
<b>講師</b>	組織活性化コンサルタント/CDAひらやま事務所 代表 平山 展也氏		
<b>プログラム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24卒の採用動向、25卒の採用計画</li> <li>・リアルな学生の声</li> <li>・生き残る会社の条件</li> <li>・中小企業のメリット・デメリット</li> <li>・選ばれる企業とは？</li> <li>・採用・定着・戦略化について</li> <li>・WEBを活用した採用（WEBを活用したインターンシップの導入や事例紹介など）</li> <li>・応募者、従業員をタイプ別診断する簡易方法</li> </ul>		
<b>参加者数</b>	総計49名 (11月16日(木)28名、12月14日(木)21名)		

\\ 企業・団体の声 //

自社の事を再度考え直す機会となった。ポイントがよくわかった。

会社を選ぶ基準、応募者は何を求めているのかが大切だと思った。

インターンシップについてもっと知りたかった。

先輩社員のコメントがないと学生の心が動かないということがわかった。

グループワークがあって、参加他社の方とお話できたところが良かった。

新たな知識・情報をたくさんいただきました。活用できるものを吟味し、進めていきたいと思えます。



**企業向け** **学校向け** 「令和6年度（2024年度）インターンシップ説明会」「企業と学校の交流会」

兵庫県インターンシップシステムにご登録の地元企業のご担当者様と学校ご担当者様向けに、インターンシップ推進事業に関しまして、令和5年度（2023年度）の実績報告と令和6年度（2024年度）における活動の基本姿勢についての「説明会」を行いました。また、産学交流のための「企業と学校の交流会」を対面にて開催いたしました。

<b>日時</b>	令和6年（2024年）2月21日（水） 13:00～16:30	<b>会場</b>	ホテルクラウンパレス神戸5階
<b>プログラム</b>	① 基調講演 「変化する就職環境の中で、学生の心をつかむ“コミュニケーション戦略”とは ー企業・大学・学生の調査データでみる新卒採用マーケットー 株式会社ディスコ マーケティング本部 マーケティング部 部長 兼 キャリタス就活編集長 林 茜氏 ② 兵庫県経営者協会・姫路経営者協会による実績報告・次年度説明 ③ 企業と大学の交流会		
<b>参加者数</b>	【企業】43社 55名 【学校】27校 32名 【関係機関】4団体 5名		
<b>交流会 参加企業 43社</b>	Earthink 株式会社/池田建設株式会社/株式会社イポキン/株式会社ウエルネス/ MHI パワーエンジニアリング株式会社/株式会社木内計測/旭光電機株式会社/キンキテレコム株式会社/ 桑村繊維株式会社/神戸中央青果株式会社/株式会社神戸マツダ/ゴダイ株式会社/ 塩屋土地株式会社ホテル事業部/有限会社柴田商店/株式会社島田組/株式会社清水設計事務所/ 株式会社CiNK/医療法人社団 星晶会/セツカートン株式会社/センコー株式会社/ 医療法人社団創生会/株式会社ダイネンヒューマン plus/株式会社タクマプラント/ 株式会社千代田精機/株式会社TVE/株式会社電建/トラストメディカル株式会社/日新信用金庫/ 日東コンピューターサービス株式会社/株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター/ 株式会社ハマダ/株式会社濱本ジェネラルコーポレーション/株式会社阪技/ ビーイングホールディングス株式会社/兵庫県警察/株式会社ベネスト/株式会社manas/ マルナガロジスティクス株式会社/有限会社マルブン/株式会社明和工務店/株式会社ヤマシタワークス/ 株式会社山田工務店/山村ロジスティクス株式会社		
<b>交流会 参加学校 26校</b>	大阪音楽大学/大阪経済大学/大阪成蹊大学・短期大学/大阪産業大学/大阪電気通信大学/大手前大学/ 大手前短期大学/関西大学/関西学院大学/京都産業大学/京都女子大学/甲子園大学/甲南大学/ 神戸医療未来大学/神戸海星女子学院大学/神戸学院大学/神戸女子大学・神戸女子短期大学/ 神戸薬科大学/奈良県立大学/日本経済大学 神戸三宮キャンパス/姫路獨協大学/ 兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス/兵庫県立大学 姫路工学キャンパス/福知山公立大学/流通科学大学		



基調講演の様子



企業と学校の交流会の様子

# インターンシップ 協力企業・学校一覧

## 【登録企業】338社のうち【募集企業】94社（88社+ひょうご企業見聞録）

令和6年(2024年)1月末時点

企業・団体名	エントリー	参加決定	企業・団体名	エントリー	参加決定
Earthink(株)	4	4	日本テクノロジーソリューション(株)	5	2
アスカカンパニー(株)	0	0	(株)日本ビジネスデータプロセッシングセンター	2	1
(公財) 尼崎市スポーツ振興事業団	3	3	(株) Noz	0	0
(株)井澤商店	0	0	(株)ノーリツ	1	1
伊福精密(株)	1	1	白鶴酒造(株)	7	2
(株)イボキン	0	0	橋本建設(株)	0	0
(株)オカモト・コンストラクション・システム	1	0	長谷川電機工業(株)	0	0
(株)奥谷金網製作所	2	1	(株)済本ジェネラルコーポレーション	0	0
(株)カコテクノス	0	0	原田建設(株)	0	0
がまでん(株)	0	0	(株)阪技	2	2
(株)観光ホテル淡州	0	0	阪神水道企業団	1	1
(株)木内計測	0	0	阪神測建(株)	0	0
旭光電機(株)	0	0	ビーイングホールディングス(株)	1	0
(社福) きらくえん	1	1	(公財) 兵庫県勤労福祉協会 中央労働センター	0	0
キンキテレコム(株)	0	0	(公財) 兵庫県国際交流協会	2	1
桑村繊維(株)	0	0	(一財) 兵庫県雇用開発協会	0	0
神戸国際ステージサービス(株)	1	1	平田建築設計(株)	0	0
(一財) 神戸市水道サービス公社	0	0	福井建設(株)	0	0
神戸中央青果(株)	0	0	(一社) 福祉心話会	3	2
神戸の不動産(株)	0	0	(株)プレックス	6	5
(株)神戸マツダ	0	0	(株)ベネスト	1	0
(社福) 神戸 YMCA 福祉会	0	0	ベルエステート(株)	0	0
(株)コスモ	0	0	(株)寶角ギヤー	0	0
(株)サージ・コア	1	1	マルナカロジティクス	0	0
(株)三洋航空サービス	1	1	(有)マルブン	0	0
(株)JTB 神戸支店	2	1	三菱電機(株)	0	0
塩屋土地(株) ホテル事業部	0	0	三菱電機コントロールパネル(株)	1	0
シバタ工業(株)	0	0	(株)みなと銀行	9	6
(有)柴田商店	0	0	(株)ヤマシタワークス	5	3
(株)島田組	0	0	(株)山田工務店	0	0
情報セキュリティ(株)	12	6	山村ロジスティクス(株)	1	1
(株)城山ホールディングス	0	0	(株)山本電機製作所	0	0
(医) 星晶会	4	4	和田山精機(株)	1	1
センコー(株) 阪神主管支店	5	2	相生市役所	8	8
(医) 創生会	0	0	加古川市役所	55	20
ソフラ(株)	0	0	高砂市役所	7	7
大学コンソーシアムひょうご神戸	13	10	兵庫県警察	121	99
大日グループ (大日通信工業(株)、大日電子(株)、ウイングエンジニア(株))	0	0	兵庫県庁	257	140
(株)ダイネンヒューマン plus (就職サイトはりまっち)	1	1	兵庫労働局 ハローワーク	5	5
(株)タクマプラント	0	0	防衛省 自衛隊兵庫地方協力本部	0	0
(株)千代田精機	2	2	《ひょうご企業見聞録事業》		
(株)電建	0	0	(株)奥谷金網製作所		3
トラストメディカル(株)	0	0	(株)香山組		5
(株)中井工務店	0	0	神戸中央青果(株)	39	8
日新信用金庫	3	3	(株)日本ビジネスデータプロセッシングセンター		8
日東コンピューターサービス(株)	1	1	白鶴酒造(株)		7
日本技術サービス(株)	0	0	(株)阪技		8
日本橋梁(株)	0	0	合計	598	389

※全て延べ人数

## 【登録学校】241校のうち【学生登録のあった学校】125校

令和6年(2024年)1月末時点

エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定	エリア	学校名	登録	参加決定
兵庫	明石工業高等専門学校	14	6	東京	上智大学	1	0	大阪	大阪大学	9	2
	芦屋大学	4	3		創価大学	1	0		大阪電気通信大学	1	1
	大手前大学	9	2		中央大学	1	0		関西外国語大学	3	2
	関西看護医療大学	1	0		帝京大学	1	1		関西大学	24	10
	関西国際大学	8	2		日本大学	2	2		近畿大学	25	12
	関西福祉大学	7	4		日本文化大学	3	0		四天王寺大学	2	2
	関西学院大学	51	23		明治大学	1	0		摂南大学	2	1
	芸術文化観光専門職大学	1	0		早稲田大学	1	0		梅花女子大学	1	0
	甲子園大学	1	1		東海大学	4	2		羽衣国際大学	2	1
	甲子園短期大学	8	3		横浜国立大学	4	0		阪南大学	1	1
	甲南女子大学	3	1	富山	富山大学	1	1	桃山学院大学	4	1	
	甲南大学	55	23	石川	金沢大学	2	2	大和大学	2	1	
	神戸医療福祉大学	1	1	長野	信州大学	2	2	帝塚山大学	3	2	
	神戸海星女子学院大学	1	1	岐阜	岐阜大学	3	2	奈良	天理大学	1	1
	神戸学院大学	43	19	静岡	静岡大学	5	1	奈良女子大学	1	0	
	神戸芸術工科大学	6	3	愛知	愛知学院大学	2	0	和歌山	和歌山大学	2	0
	神戸国際大学	23	13		愛知工業大学	4	0	鳥取	公立鳥取環境大学	2	0
	神戸市外国語大学	7	3	三重	愛知大学	1	1	鳥取	鳥取大学	6	3
	神戸松蔭女子学院大学	3	0		三重大学	2	0	島根	島根県立大学	1	0
	神戸学院大学	5	0		大谷大学	1	1	島根	島根大学	4	1
神戸女子大学	4	2	京都外国語大学・京都外国語短期大学		2	1	岡山	岡山大学	29	7	
神戸親和女子大学	8	5	京都華頂大学・華頂短期大学		1	1		岡山理科大学	2	0	
神戸大学	37	27	京都産業大学		17	10		環太平洋大学	12	10	
神戸薬科大学	4	0	京都女子大学		12	2		吉備国際大学	2	1	
姫路獨協大学	3	1	京都大学		1	0	尾道市立大学	1	0		
兵庫教育大学	2	1	京都橘大学		3	1	広島	広島工業大学	1	0	
兵庫県立大学	明石看護キャンパス	1	1		京都府立大学	1	0	広島	広島大学	7	4
	淡路緑景観キャンパス	5	0	同志社女子大学	2	2	山口	山口県立大学	1	0	
	神戸商科キャンパス	59	18	同志社大学	13	4	山口	山口大学	2	1	
	姫路環境人間キャンパス	29	15	福知山公立大学	1	0	徳島	徳島大学	9	3	
	姫路工学キャンパス	8	0	舞鶴工業高等専門学校	4	2	香川	香川大学	11	3	
兵庫大学	7	4	立命館大学	23	11	愛媛	愛媛大学	6	2		
武庫川女子大学	9	1	龍谷大学	12	4	高知	高知県立大学	5	3		
武庫川女子大学短期大学部			追手門学院大学	3	1		高知	高知工科大学	2	0	
流通科学大学	15	9	大阪教育大学	3	0	高知	高知大学	3	0		
北海道	北海道大学	2	1	大阪経済大学	11	7	福岡	北九州市立大学	1	0	
酪農学園大学	1	0	大阪経済法科大学	6	5	九州		九州大学	2	1	
青森	弘前大学	2	2	大阪	大阪芸術大学	1	0	熊本	熊本学園大学	1	0
宮城	東北大学	2	1		大阪工業大学	7	5	宮崎	宮崎大学	2	1
茨城	筑波技術大学	1	1		大阪公立大学	4	1	鹿児島	鹿児島大学	2	1
	筑波大学	1	0		大阪産業大学	6	2	沖縄	琉球大学	3	0
栃木	宇都宮大学	1	1		大阪商業大学	3	0	合計	830	350	

※参加決定数・合計数は延べ人数 ※複数キャンパス登録校は本部所在地に記載

# 企業・学校・学生アンケート結果

## 企業アンケート (回答数：42)

### Q1 インターンシップエントリー学生の特徴の変化

- 2年生など**低学年からの参加者が増えた**。
- 志望業界を絞って参加している方と、広く業界研究をしている方の**二極化が目立っていた**印象。
- 夏季インターンは対面実施のみで大きな変化はなかったが、新たにオンラインでのプログラム(オープンカンパニー)を増発し接触できる学生数は増加傾向にある。
- オンラインで実施したことで、遠方からの参加者が増加した。
- 昨年よりも、リアル(実対面)で、複数日程を希望する方が増えたと感じる。

### Q2 インターンシップ実施の上で工夫していること

- 学生が一人で黙々と考えたり体験をするだけでなく、**参加者同士や社員と多くコミュニケーション**を取りながら、**社会人に向けての体験**をしてもらえるよう内容を作っている。
- 学生の学びたい事や興味のある分野を事前に伺い、実施内容に反映する。
- 講師として**若手社員を各事業部から**呼ぶことで幅広い意見を聞けるようにしている。
- 終了後は**フィードバック**もお送りすることで、学生さんにとって少しでも価値のある時間にしていただけるように工夫している。
- 学生に**学校で学んでいること**がどのように社会で役立っているのかを実感してもらえるように、インターンシップの内容を工夫している。
- できるだけ、**全ての部署と関わるプログラムや実際体験**してもらおうプログラムを考えている。
- 1日目はweb、2日目は工場見学・体験など**日にちを分けて**実施するようにしている。

### Q3 新制度についてお気づきの点や課題など

- 抽象的、主観的な表現もあり、**分類に迷う**。
- タイプ3は3年生のみ対象であり、**低学年の参加**も受け入れる場合は、実施内容に就業体験と日数を満たしていた場合でもタイプ3として募集出来ない点が気になる。
- 就業体験(模擬含む)を半分以上とかにしたほうが良い。
- 学生と話をしていても、5日間のインターンシップは辛いとの声が多かった。
- タイプ3、4が**学生様の就業経験に望ましいとは理解しつつも、受入が難しい**。
- インターンシップが採用に結び付くプログラムでなければ、就職を目指す学生にとっては、魅力がないのではないかと感じる。

### Q4 学校へのご意見・ご要望

- ナビサイトが推奨する1Dayや2Dayのイベントとインターンシップ(体験型)の違いについて、今後の職種および企業選びをする中で、**体験型で得られる利点をお話**いただきたい。
- **中小企業にも目が向く**ようなきっかけづくり。
- **学校様からの見学**などの機会があるとありがたい。地元の企業をもっと見てほしい。
- 大企業にだけ目を向けるのではなく、中小企業やあまりメジャーではない企業にももう少し注力してほしい。(合同説明会をしても、有名な企業には人は集まるが、中小企業がその陰に隠れてしまう。)

## 学校アンケート (回答数：84)

### Q1 インターンシップ・就職活動に対する学生の動向や相談内容の変化

- インターンシップ・就職活動どちらも、動き出しの早い学生とそうでない学生の**二極化がより顕著**となった。
- **低学年時から**インターンシップや就業体験を意識する学生が増えた。
- コロナの影響かもしれないが、就活に関する情報を**友達や先輩から収集する学生が減っている**と感じる。逆に、**インターネットからの情報収集が増えている**と感じた。
- メディア、ナビサイトの影響でインターンシップが必須なのではないかと、誤った情報に**焦らされている**学生が多い。
- 一部企業では早期選考が行われているような話も聞いており、**学生の学業に支障が出ないか**が心配。
- **早期選考を意識**して、インターンシップ前のエントリーシート添削等が多くなった。
- 自分のやりたい事や勤務地や福利厚生等の条件、更には自分のペースで仕事が出来そうな就職先を探しているように感じる。
- **大企業や官公庁への**インターンシップ参加や就職を希望する学生の相談が、一年を通じて増加した。
- **就職活動の辞め時が分からない**という相談を受けることが増えたように感じる。
- 企業が積極的に採用を行っているため、**楽観的に就職**というものをとらえている傾向にある。

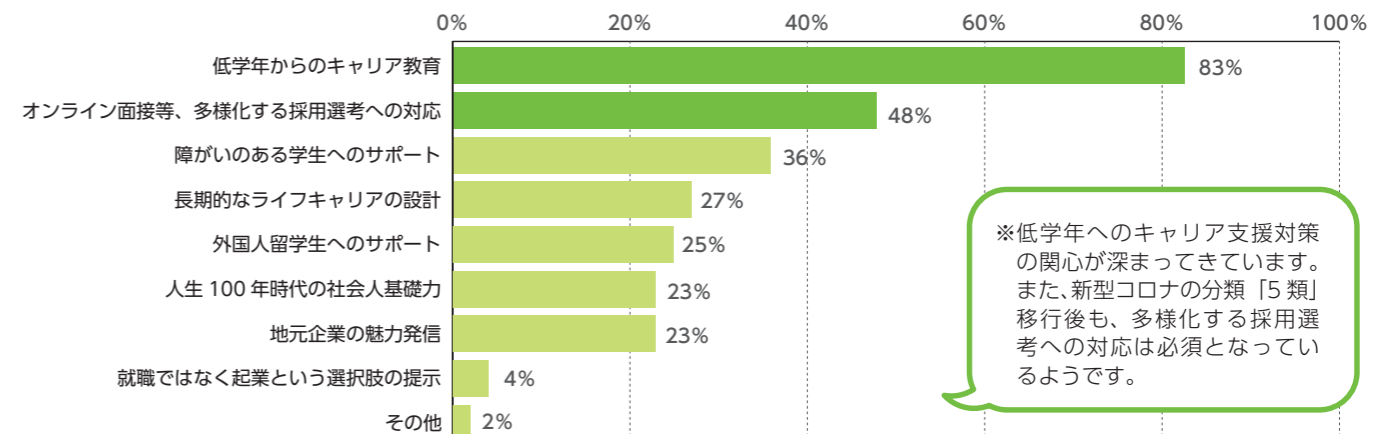
### Q2 企業へのご意見・ご要望

- 企業には、準備、運用等手数をおかけすることになり、ありがたく感じている。
- 実習内容や学生へのフィードバックの状況など、今後は**大学側とより密にコミュニケーション**を図っていただきたい。
- 多くの学生が参加できるよう**実施時期や実施曜日などご配慮**を頂きたい。
- インターンシップが終わった後に連絡を取り、早期選考をするなど、**採用活動の早期化になるようなことは慎んで**いただきたい。
- オンラインでの説明会や社員との懇談会よりも、**就業体験を通じて「実際の職場がわかるもの」「キャリア意識がはぐくまれるようなプログラム」**を企画・実行いただきたい。
- **低学年次を対象に**キャリア教育を目的とした実習を増やしてほしい。

### Q3 新制度への期待や懸念

- **低学年からタイプ1のオープンカンパニーに参加し、3年生以降にタイプ3に参加する流れ**が大学としても好ましい。
- 4類型について学生・教職員・企業等に**なかなか浸透しておらず**、少し混乱が見受けられた。
- キャリア教育を目的とした**低学年向けの長期就業体験**の受入企業が少ない。
- 学生にとって選択肢が明確になり行動しやすくなった一方、選考のさらなる早期化につながることも考えられるため、**学業との両立が課題**となる。
- タイプ3・4就業体験型インターンシップ対象が3年生以上になっているため、**低年次の学生の就業体験への参加機会が失われる事**が懸念される。

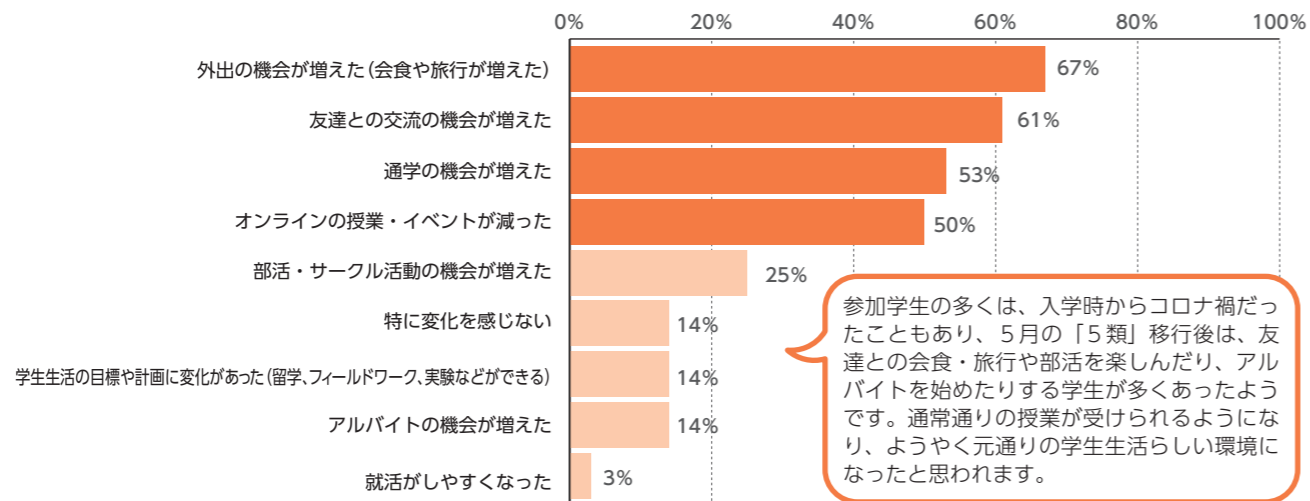
### Q4 今後のキャリア支援で特に対策が必要なもの ※最大3点選択



※全て回答者比

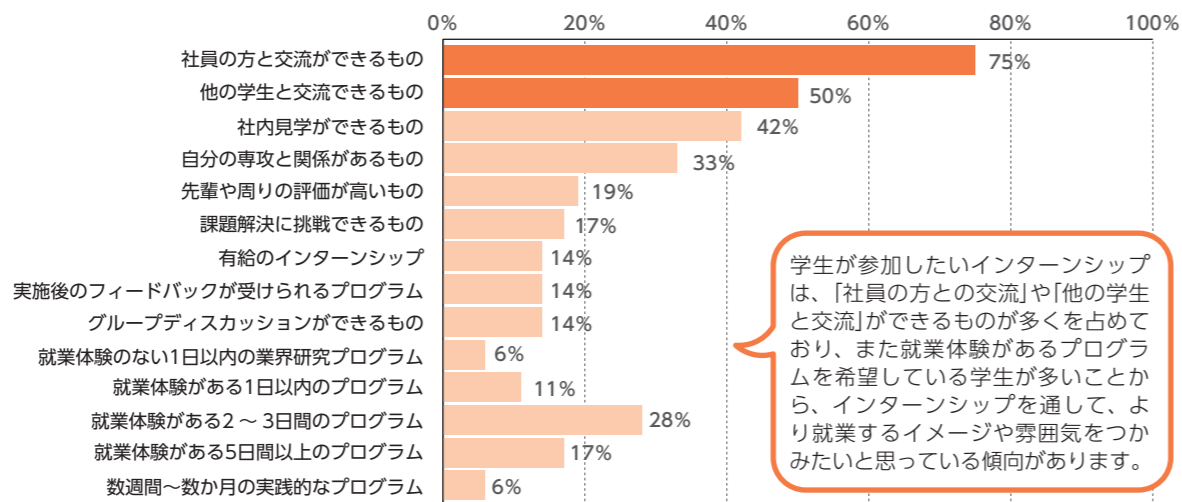
学生アンケート（回答数：36 / 内訳：大学1～2年生 8% 3年生 72% 4年生 6% 院生 8% 短大生 3% 高専生 3%）

Q1 新型コロナウイルス「5類」に移行後の生活に変化 ※3つ選んで回答



参加学生の多くは、入学時からコロナ禍だったこともあり、5月の「5類」移行後は、友達との会食・旅行や部活を楽しんだり、アルバイトを始めたりする学生が多くあったようです。通常通りの授業が受けられるようになり、ようやく元通りの学生生活らしい環境になったと思われます。

Q2 今後参加したいプログラム ※複数回答可



学生が参加したいインターンシップは、「社員の方との交流」や「他の学生と交流」ができるものが多くを占めており、また就業体験があるプログラムを希望している学生が多いことから、インターンシップを通して、より就業するイメージや雰囲気をつかみたいと思っている傾向があります。

Q3 今年度参加したインターンシップの感想と課題と感ずる点

〈良い点〉

- 会社や社員の方の雰囲気分かりやすかった。
- コミュニケーションしやすかった。
- 実際に会社に伺うので通勤等の感覚を掴めた。
- 体験型のプログラムが充実していた。
- 質問があった際に聞きやすく、かつ現場を見ることができた。
- 自宅から参加でき、交通費がかからない。
- スケジュール調整がしやすかった。
- 準備が簡単にできる。

〈課題と感ずる点〉

- 遠方のプログラムに参加する場合、授業との兼ね合いが難しかった。
- 交通費や通勤時間が掛かった。
- 複数のプログラムを受けてかつ実習地が他府県など離れている場合は日程調整と移動が大変だった。
- 通信が不安定で途中でパソコンが落ちたこと。
- やはり画面上ではわかりづらいものもあった。
- 対面よりも話づらいところ。
- マイクや画面のオンオフが億劫だった。

参考資料：キャリア形成支援活動 4 類型について

令和6年度（2024年度）も下表の4類型にてインターンシップ推進事業が継続となります。当協会インターンシップ推進事業事務局は、タイプ1～4類型のすべてを取扱います。

採用と大学教育の未来に関する産学協議会「産学で変えるこれからのインターンシップ」

### 学生のキャリア形成支援活動（4類型）— 特徴の比較 —

以下の表は、学生のキャリア形成支援活動（4類型）の主な特徴を一覧表にまとめたものです。各タイプの特徴に関するより詳しい内容については、産学協議会2021年度報告書「産学協働による自律的なキャリア形成の推進」の33～45ページをご覧ください。

	類型			
	タイプ1： オープン・カンパニー	タイプ2： キャリア教育	タイプ3： 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4（試行）： 高度専門型インターンシップ
①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的ケース (主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	●大学等が主導する授業・産学協働プログラム（正課・正課外を問わない） ●企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	●ジョブ型研究インターンシップ（自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中） ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）（産学協議会で検討中）
③就業体験	なし	任意	必須 ★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分以上の日数を職場での就業体験に充てる（テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」） ★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
④参加期間 (所要日数)	超短期（単日）	授業・プログラムによって異なる	★(c) 実施期間要件 (i) 汎用的能力活用型は短期（5日間以上） (ii) 専門活用型は長期（2週間以上）	●ジョブ型研究インターンシップ：長期（2カ月以上） ●高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ（仮称）：検討中
⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮し、学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）	学士・修士・博士課程の全期間（年次不問）。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間（夏休み、冬休み、入試休み・春休み）但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない	—
⑥取得した学生 情報の採用活動 への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

★(e) 情報開示要件：タイプ3の実施にあたり、募集要項等に、以下の項目に関する情報を記載し、ホームページ等で公表してください。

- ①プログラムの趣旨（目的）
- ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給/有給等
- ③就業体験の内容（受入れ職場に関する情報を含む）
- ④就業体験を行う際に必要な（求められる）能力
- ⑤インターンシップにおけるフィードバック
- ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨（活用内容の記載は任意）
- ⑦当該年度のインターンシップ実施計画（時期・回数・規模等）
- ⑧インターンシップ実施に係る実績概要（過去2～3年程度）
- ⑨採用選考活動等の実績概要 ※企業による公表のみ

■タイプ3について

上記(a)～(e)5つの要件を満たす場合、以下の①②が可能になります。

- ①プログラムを通じて取得した学生情報を採用活動開始後に活用
- ②募集要項等に「インターンシップ」と称し、「産学協議会基準準拠マーク」を記載  
※マークの取得方法は、産学協議会ホームページをご確認ください。

産学協議会基準準拠マーク



☆産学間による合意事項をまとめた年度報告書や参考資料、解説動画が公開されていますので、「産学協議会ホームページ」も併せてご確認をお願いいたします。

【URL】 <https://www.sangakukyogikai.org/>

